

初の大雪警報発表 町一面が銀世界



05



04



03



02



01



07



06



08



09



13



12



11



10

01. 大里自然プール。02. 雪だるまを作る飯盛保育所の園児。03. 桐原神社。04. ウミガメ公園。05. 平尾井薬師。06. 神内神社。07. 役場屋上からの景色。08. 浅里地区を走るバス。09. 飛雪の滝。10. 相野谷中学校付近。11. 井田海岸。12. 御船島。13. 桐原地区で雪合戦をする子どもたち。(08・09. 木下起査央さん提供。)

INTERVIEW



木下 起査央さん(浅里)

町内でこんな景色が見られるとは思っていませんでした。浅里では、年に1回ほど雪が降りますが、こんなに雪が積もったのは私自身初めての経験でした。1月24日の午後7時ごろ窓から外をのぞくと庭の木に雪が少し積もっていましたが、まさかこんなに積もるとは思わなかったのです、25日の朝起きてびっくりしましたね。25日の午前7時前に、バスが走っている音が聞こえたので、雪道の中走るバスの写真を撮ろうと急いで外に出ました。その時撮った写真が提供したものです。いつもは水分を含んだぼたん雪ですが、今回はさらさらとしたパウダースノーで、20cmぐらい積もっていたと思います。

「大雪警報」は昭和37年に運用が開始され、この地域に発表される基準は、12時間の降雪の深さが10cm以上と予想される場合とされており、紀宝町に発表されたのは、今回が初めてです。警報の発表を受け、町は災害対策本部の設置、移動支所の中止などを行い、小中学校では、児童生徒の自宅待機など、さまざまな対応にあたりました。大雪警報は25日午前10時7分に解除されましたが、その後も、残った寒気の影響で露出した水道管や給湯器の破損などの通報がありました。町内では、路面凍結のため速度を落として走行する車や、車での移動をやめ徒歩で通勤する人の姿などが見られ、普段と違う光景に戸惑っている様子がかがえた一方、保育所の園庭や各地区の広場などでは子どもたちが雪だるまを作ったり、雪合戦をしたり、普段なかなか体験できない雪遊びを楽しんでいました。

今 季1番の非常に強い寒気の影響で、紀宝町にも発達した雪雲が流れ込み、1月24日の夕方ごろから雪がちらつきはじめ、25日の午前5時17分には「大雪警報」が発表されました。「大雪警報」は昭和37年に運用が開始され、この地域に発表される基準は、12時間の降雪の深さが10cm以上と予想される場合とされており、紀宝町に発表されたのは、今回が初めてです。

INTERVIEW